Nao の国民民主党ノート　No.　００　　*２０２６．０９．０８*

広島４区　鍋島　勢理　党員 / 奈良１区（奈良県議会候補）杉本あおい　党員
奈良県生駒市在住　　坂口　直明

新代表決定して最初の公休日なので、約１時間かけて「国民民主党さしあたって」をランダムに書いてみました。
鍋島勢理さんがＦＭ東広島で毎週金曜日に放送されている「せりの国会ノート」をまねて「Nao の国民民主党ノート」として、不定期で継続していきたいと勝手に思っています。

ご多忙とは思いますが、お時間のあるときに一部でも読んで頂ければ幸いです。　　また「これは使える」と思って頂けた書き込みは、一部でも自由に引用、活用頂ければ助かります。

１．人事、組織体制について

一般企業の　CEO、COO、CFO などにならって最高責任者を明確にして、責任範囲や権限移譲が明確な組織体制にしてほしいと思います。
加えて IT や DX などに必須な、CIO は必ず明確にしてほしいと思います。さらに「人事（人選と活用）」「総務（資産、資材管理）」を人、物、組織などをリソースと総括する CRO という最高責任者も。
政党なので party の頭ととって PEO とか、Political Party で　PPEO でもいいです。
このトップ５名をサポートするようなアドバイザリーボードのようなものも必要です。政党政治、議会、政策などの専門家だけでなく、広く第三者も交えた「有識者会議」のような。
地方の体制は、基本スターターキットの話をしていた方がいましたけど、スターターキットのようなものは用意しておくけれど。もう一歩進めて東京に本部を置くのであれば、国民民主党本部と副首都構想的に、副本部構想みたいな感じで。西日本本部、東日本本部というのはそれぐらいの単位でいいのかなと思います。
場所の候補は大阪とかに一つ置くというのもやり方ですけれども、これ災害対策も含めての観点で、そして鍋島さんにはお話ししましたが、東京から 800 キロ程度以上離れている方が何らかの大災害とかが起こったときに影響がほとんど出ないところで実務を回せると、そういう判断をしてみたいと思っていたりします。
その意味では副本部構想で西は広島あたり、鍋島さん広島なので西日本本部長でもいいかなと思ったりします。
東側は議員さんのおられるところ強いところで判断。宮城県（仙台）か岩手県（盛岡）で

すね。そのあたりに東日本の本部を置いて、東京と三極体制でやる。

あとは議員さんがおられないところとか、党員サポーターだけで盛り上げるというか、国民民主党を広げていっているところの地域も含めて、何々地方（中国地方、北陸地方 etc）単位ぐらいでブロックを作ったらいいと思います。

これは先ほどの副本部構想とちょっとダブルかもしれませんけど、近畿地方本部みたいな形にして、各地方本部内の他県を補完する体制を作ってゆく。その県とかに議員さんとか地方議員さんが全然おられなかったとしても、隣接する府県のところまで含めて、その何々地方、例えば中国地方であれば仮に島根県と鳥取県とかに誰もいないという話になれば、中国地方本部が鳥取県をサポートするとか。

詳しい地域の実情は地元の方でないとわからないので、その県の党員サポータの方中心に、地方本部の議員さんなどが、立ち上げ時は伴走してサポートするような感じ。

２．代表選挙　投票用紙不達等課題の総括

今回最初に取っ掛からなきゃいけないのが、例の投票できなかった方の対応の顛末報告、総括ですね。

これは私の中ではもう原因ははっきりしていて、アテナさんっていうところに依頼して投票用紙を配られたんですけど、私はたまたま 2 箇所に党員籍を置いてたんで片方から来て片方から来なかったから、すぐ統一した顧客データベースみたいなのがないんだなっわかりました。

アテナさん自体はああいう配信をするサービスは確かに得意な企業さんで、ダイレクトメールの配信とか結構実績があるのは知ってるんですけど、それは名簿、個人情報がしっかりしたものがある程度あって成り立つような企業さんらしいです。(違っていたらすみません。ユーザ目線の口コミ情報です)

なぜアテナさんになったか契約の経緯とかわからないですけど、利用された（契約された）ことのある方（企業）から、まずは顧客データベース、いわゆる CRM で言われているお客さんの情報、個人情報とかがきっちりデータベースとしてできていて、それを使って配信するところから先は業務をお任せしたら、きちっと全員に届くという確実性があります。

裏を返せば、国民民主党のように、党員サポータや地方議員さん含めての名簿情報が、バラバラ分散して保存手段も別々の場合、その情報をアテナさんに「統一顧客データベース作って配信してよ」とやっても、おそらくデータベースに強いところに外注されるんでは？

まずは名寄せの課題もそうですし、今あるデータベースをちゃんと棚卸しをした方がいいと思います。棚卸しというのは、それぞれの県とかどの単位かは分かりませんが、本部で受けているものとか、県でデータベースを持っているものとか、そもそも紙ベースで党

員台帳のようなものがあって、そこに名前が一覧になっているというレベルで、それを見てダイレクトメールなり案内を全部郵送で送っているというところもあるかもしれません。

顧客データベースを作るときの最大のポイントは「すでにある複数の異なる個人情報を、いかにして矛盾なく同じ”バケツ”に入れるかです。真っさらなところに全部一から入れるというのは非常に少なくて、いくつかのデータベースがそれぞれあちこちに散在しているものを、新しいバケツを作るなら作るで入れ先は一箇所なのですが、持ってくるところは形式も形もデータの量も全部違うので、その移行計画をはっきりして持ってこないと、せっかく作った新しいデータベースが、例えは悪いですけれども年金記録みたいになっちゃうんですね。後からほころびがいっぱい出てきてしまいます。

ですから、最初にその新しいデータベースをきちっと項目付け、カラムと言いますけど、項目付けをきちっとするのもそうですし。検索に際してどれを一意にキーワードとするか。メールアドレスなのか名前なのか、それとも「国民民主ＩＤ」なんてキー項目を新設して、そこにユニークな索引（インデックス）を付加しておけば。すぐ特定の方の情報を引き出せる。そう感じます。

この辺は一応専門なので、今でも基本は変わっていない 45 年前にできた「リレーショナル　データベース（RDB）の技術」をちゃんと皆さんにお話しすることもできます。

そういうところで党員として何かお役に立てれば一番いいのかなと思っていたりします。一応「システムエンジニアリング　アドバイザー」を名乗っていますので。

３．お金の話　　PFO さんが最高責任者で「金庫番」

経理責任者のもと、ぜひ国民民主党としてやって頂きたい（人と工数、コストをかけたとしても）項目、ランダムにあげておきます。すでに「ここ見たらあるよ」ならＵＲＬ等教えて下さい。

この分野は、経理財務のプロが党の幹部の方や党員サポータの方にも多数おられるはずなので、その方々のプランと実行計画も、ぜひお聞きしてみたいと思います。

・企業が必ず作成する「事業計画」「（複数年先への）中期経営計画」
・貸借対照表（Ｂ／Ｓ）と損益計算書（Ｐ／Ｌ）
・「年次報告書（アニュアルレポート）」
・「決算書」および「監査報告書」
・「資産負債明細」

こういった財務諸表や決算レポートが共有されれば、党員サポータ各位含めてお金の動きもよくわかると思います。

党員サポーターの皆様が、年間支払われているコストが、どのように国民民主党の運営にかかわっているのかも、透明性が高まるはずです。

党員の 4 千円は高いのか？　党に支給される「政党交付金」などは、どうお金が流れているのか？　ある程度の範囲の地方単位で、収支バランスがわかれば、立候補者の人選と合わせて、CFO と CRO で協議して「テコ入れすべきところ」を明確にして、翌年の予算計画に反映できますし。

４．Ｗｅｂサイト構成とＳＮＳの整理

2 月の総選挙中に党員になったばかりの身なので、サイトも SNS も多すぎて、全部見れてません。すみません。

ただ「自分が得意で使いやすい SNS」「Web サイトの一部は検索エンジンから」「議員さん単位での　公式 Line グループや Line ビジネスアカウント」
などを掛け合わせると、見るところは絞っても大丈夫かなと勝手に思っています。

2 月当初の頃を振り返ると、知っているのは奈良の候補者（杉本さん）
党の有名人　　玉木さんと榛葉さん　。投票日直後に知ったのが広島の鍋島勢理さん。こんなものでした。

ここも裏を返せば「はじめての国民民主党」とか「最初に見てね」みたいなコーナが、党公式 Web サイトのトップにあったらよかったのになあと。あるんでしょうか「国民民主党あるある」にたいな Tips 集とかも。

幸い投票日前日、県連事務所でばったり杉本候補のお母様と会って。これから最後のポスティングに。それなら私が土地勘ばっちりの地元生駒市ご案内ご協力させて下さい・・・・・の流れがあったから。「新人入党研修」(笑)みたいになって、多少理解は深まりましたが。

公式ホームページに飛んできたときに、初めて国民民主党に関心を持ってアクセスしてきた方にとって「代表選挙」はさほど重要ではないのです。勝手な理解すみません。

先の選挙で、それ以前は私のように 60 年以上無党派だったり。他党に投票してきた方にとって、トップページにドンとおおきな「新代表」のバナーや、代表選挙のバナーがあっても、正直つらい状況でした。

とにかく組織も人員も大きくなったので、多すぎる公式ＳＮＳアカウントや公式ＷｅｂサイトをナビゲートできるポータルＴＯＰページが必要ですね。

そんなおおげさなものはいらなくて、国民民主に関連しているＷｅｂサイトの「サイトマップ」「リンクリスト」的なものです。「何から見ていいかわからない」「サイト間の優先順位がわかりくい」
なのです。

ところで、各Ｗｅｂサイトの管理者（Ｗｅｂｍａｓｔｅｒ）が集まるミーティングってあるのでしょうか？

（参考です。）
2026 年 9 月時点で、国民民主党関連のネット資源のうち、
私が積極的にアクセスして、状況によりコメント投稿しているのは
下記のみです。順不同で。
・国民民主党公式ホームページ
・鍋島勢理Ｆａｃｅｂｏｏｋアカウント（含むメッセンジャー）
・鍋島勢理公式Ｌｉｎｅグループ
・杉本あおいＦａｃｅｂｏｏｋアカウント（含むメッセンジャー）

これ以上巡回や定期チェックするのは、時間的に無理ですね。
危険なので「ながらスマホ」や「ながら運転」一切しませんから。

５．「目安箱」設置のおすすめ

徳川８代　暴れん坊将軍(笑)　吉宗が設置したとされる
「目安箱」。

私は幸い、近々で鍋島勢理さんが、DM 含めて非常にまめにレス頂くので、かえって恐縮するところですが。こういう図々しいじいさんの対極にいる人の「声なき声」も、きちんと拾っていかないといけないと思います。

せりさんは覚えておられるかもですが。ドラマ CHANGE の中で、灰をかぶったキャベツのお話。これは直接国会前に座り込みで訴えたケースですが「目安箱」には、そういう隠れてしまいそうな課題、切実な訴えの一部を、確実にトップや幹部にとどける上で重要なツールだと思います。

コールセンターのような電話窓口まで作ると大げさなので、まずは「郵送先」「Ｗｅｂサイト上ページ」くらいで。

議員、党員サポータ　その他　あつい想いで国民民主党を支えてこられた方々が思いつかないような突飛な発想が、そこには書かれているかもしれません。

長々最後まで読んで頂いて、ありがとうございました。